



## ゼロカーボンシティみのかも宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で深刻な自然災害が発生しています。また、日本各地においても、猛暑や集中豪雨、大型台風などが頻発し、その災害も激甚化し、気候変動問題は私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命前からの世界の平均気温上昇を、1.5℃に抑える努力を追求する」という目標が掲げられました。そして、これを達成するためには、2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロとすることが必要」とされています。

SDGs 未来都市である本市は、経済と環境の好循環により生み出される「脱炭素社会」「循環社会」「分散型社会」への移行を目指し、地域循環共生圏＝「ローカルSDGs みのかも」を掲げ、カーボンニュートラルの実現に向けての取組みを始めています。この実現には、これまで以上に市民、事業者、行政が一丸となって再生可能エネルギーの地産地消や省エネルギー活動に取り組んでいくことが大切です。

「豊かな水と緑の恵みをうけ、木曾の流れのようにひらけゆく未来をもつ」みのかもを、未来を担う次世代に、引き継ぎ、「世界中の人が憧れるまち」にするため、本市は、2050年までのできるだけ早い時期に、二酸化炭素排出量を実質ゼロにする、「ゼロカーボンシティみのかも」を目指すことをここに宣言します。

令和4年2月14日

美濃加茂市長 藤井 浩人